

企画経営部

1. スタッフ（平成29年4月1日現在）

部長	小池 創一	
副部長	興梠 貴英	
部員	医師	35名
	看護師	6名
	医療技術職技師	7名
	事務	6名

2. 企画経営部の特徴

企画経営部は、病院執行部を補佐するための病院運営組織として、病院の管理運営に係る情報収集及び分析、情報の分析結果に基づいた企画及び経営支援、病院経営に係る改善又は検討事項の処理、病院統計及び臨床指標の作成、医療機器の適正使用に係る検証などを行っている。

3. 実績

①企画経営部会

病院経営の改善に資するため、診療科等、診療現場と一層密着した形で企画経営に関する諸課題を検討し、病院執行部の支援に必要な業務を行う組織として、2016年4月に診療科、中央施設部門の医長等、看護部、医療技術職員、事務職員代表者等から構成される企画経営部会を設置した。企画経営部会では、附属病院の経営状況を説明する他、各診療科の増収対策、経費削減対策についてご報告いただき情報共有を図った。また、附属病院への要望については、関係部署での検討結果をフィードバックした。

②財務分析

病院経営の現状について、診療報酬請求額(稼働額)、収入額及び医薬材料費支出の予算に対する目標達成度を作成し、収支の動向を迅速に把握、分析をするとともに、毎月、病院執行部会議及び診療代表者会議で報告を行った。また、迅速かつ正確な経営状況の把握を行うために、2016年4月より月次変動を加味した医薬材料比率を設定し、医薬材料費の管理・分析体制を強化した。

③診療科別診療実績の配付

診療代表者会議や各診療運営部における病院統計等の報告に加えて、各診療科において診療実績を振り返り、診療科主体の運営と経営改善の一助となるよう四半期ごとに実績を可視化し、過去との比較がしやすい形式でデータの配付を行った。

④診療科別稼働目標達成状況の配布

診療科毎に稼働目標を設定し、毎月の達成状況を執行部会議、診療代表者会議で報告を行うとともに、各診療科へフィードバックした、

⑤診療科ヒアリング

診療科別の稼働目標を達成すべく、各診療科とヒアリングを実施し、2016年度の稼働目標について検討を行った。

⑥医事支援会議

診療保険委員会、DPCコーディング委員会、医療材料審査委員会、医療機器委員会等の連携をとり診療報酬改定、施設基準、算定基準から見た経営改善策の検討や必要に応じて執行部会議への提言を行い、診療報酬制度から見た材料・機器を含む診療内容の分析と改善策を検討することを目的とし、2015年度より医事支援会議を設置し、2016年度診療報酬改定に向けた対応策、施設基準の取得に向けた検討を行った。

⑦各診療運営部及び関連委員会との連携

病院運営組織における課題の抽出及びその解決の方策についての検討等のため、入院、外来、中央施設の各診療運営部と連携し円滑な病院運営に注力した。

自治医科大学附属病院将来計画検討委員会、看護システム支援委員会、医師適正配置委員会などの関連委員会に参加し、立案の支援等を行った。

4. 2017年の目標・事業計画等

病院の管理運営に係る情報収集及び分析を推進するとともに運営組織間の連携を図り、円滑な病院運営を支援する。

新館南棟オープンに合わせ病床再編に向け、新館南棟稼働時の必要病床数や入院需要の見通し等のアンケート結果を基に、適正な病床再編を検討する。

新JUMPシステムのデータを活用し、病院経営に寄与するデータの活用方法等について検討する。